

# デイキャンプ 9月29日(土)

場所：生涯学習館 9:00～13:00

## ダンボール窯でピザ作り

段ボールで窯(かま)を作り、子どもたちとピザ焼きに挑戦しました!

マッチを使った火起こしから始めて、窯の製作、ピザ生地には好きな具を乗せ、窯に入れて焼くこと20分で手作りピザの完成です。

段ボールは熱で燃えないように内側にしっかりとアルミホイルを貼り、断熱性を高めました。ピザを焼いている間は大縄跳びや、けん玉などをして遊び、あいにくの小雨でしたが、参加した子ども達全員が「来年もまた参加したい!」と笑顔の1日でした。



## 火起こし体験



「え～!なにこれ!?触ったことない!!」「これ触るなって言われてます!!」なんて言葉が初めは聞こえてきました。そう言えば、我が子にも同じことを言っているかも、と自問しながらも、寄り添いながら行えばそれは、遊びに変わっていきます。

やがて、楽しそうな「きゃー!」や「うわっ!」という発見に、ついには「俺がやるっ!」「私がやるからっ、おじさんどいてっ!」という「自分ができる」という自信に発展、子ども達の吸収力にまたしても驚かされた行事でした。あ、何をしたか?ですね。上の写真をご覧ください!

## 社会環境実態調査

毎年7月は、青少年の非行・被害防止全国強調月間として、実態調査を行っております。(右表はH29年度調査との比較)

青少年を取り巻く社会環境を知るため、町内の酒類・煙草・有害図書の販売や自販機の台数を調査しました。お店では子どもの様子も伺い「子どものトラブルは少ない」、「携帯電話を操作しながらの危険自転車運転を見かけた」等のご意見が寄せられました。

調査年度	酒類	煙草	有害図書
H29	25	41	10
H30	27	31	11

注) 店売・自販を含めた総数です

## 町事業お手伝いの様子

場所：大磯運動公園

### 大磯チャレンジフェスタ

10月14日(日)

私たち青少年指導員も参加し、毎年「玉入れ」のお手伝いをしています。玉入れは、小学生の部と一般の部を合わせて200人が参加する人気の競技です。

今年は未就学児の参加が多く見受けられたため、安全を考慮し、保護者の方と一緒に玉入れをして頂きました。勝利の行方を見つめ、カゴから取り出される玉を息をはずませながら、ひとつふたつと数える姿がとても印象的でした。



### 大磯小学生駅伝大会

1月20日(日)



スターターの合図で、小学生ランナー達が一斉に走り出し、全長3.8kmのコースを4区間に分け、青空のもと総勢18チームが熱戦を繰り広げました。

沿道からは子どもたちへ大きな声援が飛び交い、仲間やご家族に囲まれ爽やかに汗を流していました。昨年準優勝の「聖ステパノ学園小学校A」が初優勝を飾り、準優勝は「こいそボーイズ」という結果になりました。



## 成人式 1月14日(月・祝)

大磯プリンスホテルメインバンケットホールを会場に、今年は昨年よりも30名余り多い300名(男性148名、女性152名※昨年267名)の新成人が、晴れて成人の日を迎えられました。

改めて心よりお祝い申し上げます。

当日は天候にも恵まれ、新成人をよく知る恩師の先生方も大勢駆け付けて下さり、旧友との再会に会場も賑やかな雰囲気になりました。また、多くのご父兄からも新成人に温かいエールが贈られていました。この式典の為、事前準備や当日のお手伝いをされた実行委員の皆様、お疲れ様でした。

◇実行委員(敬省略):【委員長】浜田 大雅、【副委員長】桑原 海夕  
安部 結希、石川 勝巳、石田 航介、磯崎 太我、大貫 英士、勝俣 翔太、加藤 大翔、久保田 修司、熊澤 茉唯、越野 文哉、新宮領 敏由、谷酒 幸、鈴木 花菜、鈴木 友菜、清田 弘亮、清田 彩耶、相馬 奈緒、高沢 和樹、館野 菜々子、寺澤 樹京、西尾 純名、松本 陽大、水田 陽大、猿島 詔平、三好 有輝、柳田 大輝



## 青少年指導員大会 11月18日(日) 厚木市文化会館

講演 川手 隆生氏(県立青少年センター指導育成課 主任専門員)

平塚市で開催された「ぶちなでしこ」を取上げ、仮想の子どものまちで、様々な仕事を体験し、働くことの意味や給料を得る喜び、人間関係の大切さを学ぶ様子が紹介されました。(※大磯町でも10月に同様の企画「ぶちおおいそ」が開催されました)

子どもが自信をもって生きていくには、自己肯定感を高め、選択したり課題を解決する、つながる力を持ってほしい、そのためのキーワードは『子どもの参画』『体験学習』とのお話が印象的でした。「信頼して任せることで、子どもは元気に育つ」



前指導員の織戸明さんが表彰されました